

ほたるの里だより



新年の挨拶

八千代市長 豊田 俊郎

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第40号 2013年1月

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

八千代市は、首都30キロ圏内に位置しながら都市と自然とのバランスに優れた環境都市として成長を続けています。しかしながら、こうした発展の一方で、都市化の進展や生活様式の変化などから貴重な自然が減少しつつあります。良好な環境は市民生活の基盤であり、多くの恵みをもたらす豊かな自然を次世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた責務であります。

こうしたなか、本市におけるグラウンドワーク方式の先駆けとして、市民、企業、行政等関係者が協力・連携し、「八千代市ほたるの里づくり実行委員会」が平成10年に結成され、今年で15周年を迎えます。当初、市民の方々がコナラなどの木を持ち寄り植えたほたるの里は、現在、ホタルだけではなく貴重な動植物の生育の場となっており、また、ホタルメイトの皆様には、草刈り等の里の整備や、水辺の生き物学習会、広報紙「ほたるの里だより」の発行など、今日に至るまで日々精力的に活動いただいています。近年では、「ちばホタルマップ2010」の作成や、「子ども環境教室」の本市との共催、また「エコメッセ2012 in ちば」への出展など、会員をはじめ市民、そして県民へと啓発活動を展開しており、ホタルの幼虫を守るために行われた昨夏のザリガニ釣り大会では、たくさんの親子連れにご参加頂き、その様子はNHKニュースでも取り上げられました。今後とも、こうした活動を通じて、ホタルをはじめ生物の多様性の保全が図られるとともに、自然

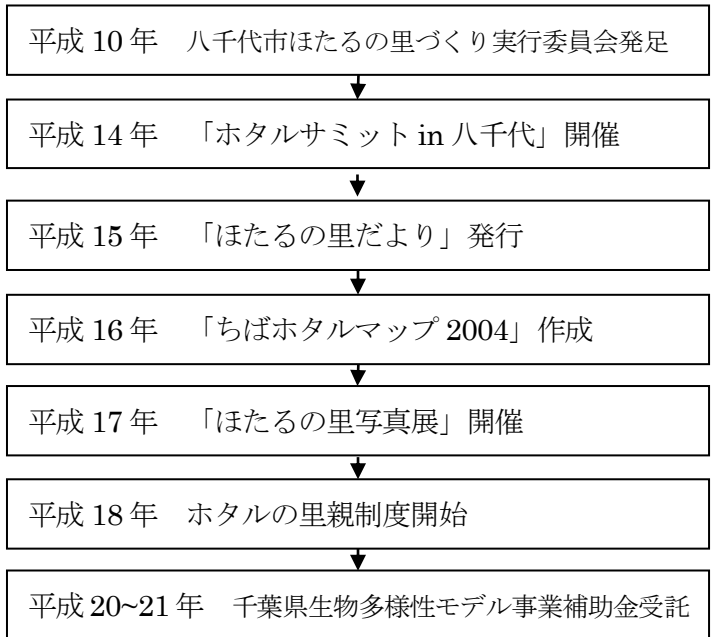
の仕組みへの理解が浸透し、自然保護活動が一層広まっていくことを切に願っています。

本市といたしましても、平成23年3月に策定した「八千代市第2次環境保全計画」、「八千代市谷津・里山保全計画」などにに基づき、今後とも環境行政施策を積極的に推進し、自然環境の保全に配慮したまちづくりに努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



ほたるの里からの富士

《ほたるの里の歩み》



24年度ホタルメイト団体 私たちはほたるの里を応援しています!

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 石井食品株式会社 | NPO法人高齢者福祉ネット | NPO法人子どもネット八千代 |
| NPO法人八千代オイコス | ガールスカウト千葉県第57団 | 共栄物流株式会社 |
| クボタ環境サービス株式会社 | 斉藤鑿泉管工 | 八千代ホタルフォーラム |
| 有限会社A | 米本団地自治会 | |

ほたるの里作品展より

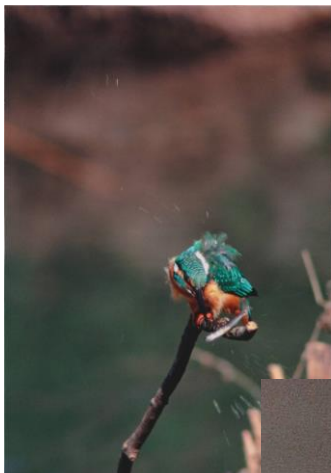
ご協力ありがとうございました。

ほたるの里づくり実行委員会では、今年で6回目となる『ほたるの里の作品展』を開催しました。皆さまからほたるの里やホタルにまつわる写真と絵画作品の応募を頂き、10月中旬からイトーヨーカドー八千代店とふるさとステーションで展示を行いました。ご協力、誠にありがとうございました。

また、イトーヨーカドー八千代店での展示の様子が千葉日報で記事にもなり、多くの方々が会場を見に来られました。来場者による人気投票の結果、下記3点が優秀作品となりました。

最優秀賞 写真の部

「カワセミ」 藤川 信博 氏



やっと小魚を
捕まえたのに、残念。

【藤川さんからの感想】近年、里山と言われても、きりくずされるなどして、小動物達が生息しにくくなっています。生きる場所が減りつつあり、もっと里山と言われる所があっても良いのではないかと思います。今でも、八千代には鳥（オオタカ）、小動物、植物など自然がまだまだ残っています。しかし、今年は蛙が少なかったのが残念でした。小動物、鳥たちが住みやすい町作りをしていきたいと思えます。自然に興味を持ち、愛してくれる人がもっと増えて、環境に対してみんな協力しあい考えていくことが出来たらと思えます。

優秀賞 絵画の部

「ホタル」 潮 泰憲 氏



優秀賞 写真の部

「トウキョウダルマガエル」 藤川 信博 氏



ふるさとステーションでの作品展展示風景

同時に、「谷津・里山作品展」「グリーンカーテン写真展」を開催しました。

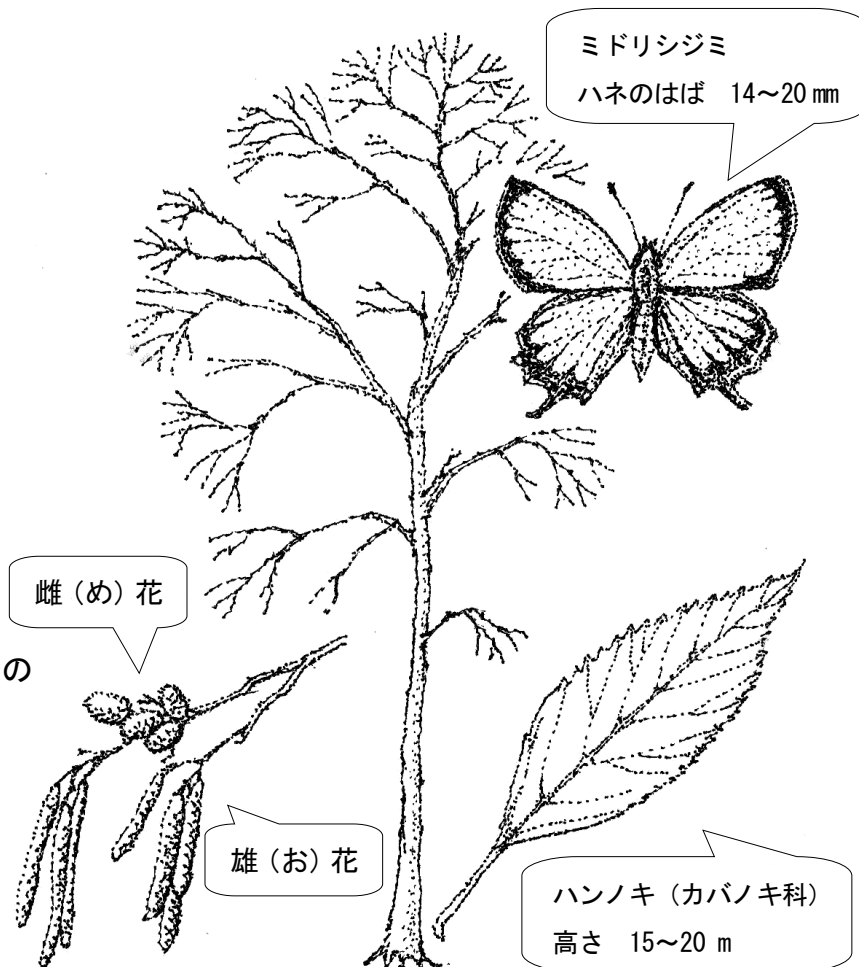
優秀作品の他にもほたるの里にいる生き物、ほたるの里の風景等の作品の出展がありました。来年度も開催を予定しておりますので、より多くの方の出展をお待ちしております。よろしくお願いたします。

～きっずコーナー～

ハンノキは水べがすきで
しめったところでそだちます。
ほたるの里にもたくさんあって
八千代のしっちにもはえています。
昔、田んぼのふちにうえられて
イネをほすときはしらに
つかわれたそうです。

ハンノキのはっぱは
ミドリシジミというちょうの
えさになります。
実（み）や皮（かわ）はそめもの
ざいりょうに、幹（みき）はえんぴつ
のじくにつかわれます。

ハンノキはにんげんにも
したしいせいたかのつぽのきです。



（絵・文：もり）

市民による稲荷台（佐倉市） ビオトープの活動の紹介

臼井・稲荷台の手繰川に近い斜面で1万6千本ものヒガンバナに出合ったら、そこが稲荷台ビオトープです。クヌギ、コナラ、ヒガンバナ、ノアザミ、センニンソウなどが茂り、湧水を集めた水路にはサワガニやカワニナが生息しています。この自然をよりよい形で残すための活動をしている、稲荷台ビオトープの会の石田英夫代表にお話を伺いました。

稲荷台ビオトープの会が活動を始めてからもう13年が経過。はじめは佐倉自然同好会が中心でしたが現在は地元の人となり、メンバーの熱意が自治会を動かし、自治会からグループへの予算がつくまでになりました。グループの総数は約30人。ふだん活動する人は半数とのこと。活動するかしないの

かにかかわらず、連絡や呼び掛けは必ず全員にするので、それがチームワークを強固にする、と石田さんは強調されます。また住民に活動状況が理解されるようにいろいろな努力をされています。

年間活動状況を記録した稲荷台ビオトープニュースの発行、オニヤンマやジャコウアゲハの発生状況やヒガンバナの開花の数まで、住民への報告・掲示を続けておられます。ヒガンバナは10年間で10倍に増えたとのこと。オニヤンマやジャコウアゲハの羽化などの観察レポートはみごとなものです。今後の課題は、活動を継続していくためには若い人たちの力が必要だと石田さんは苦慮されていました。

ヒガンバナの季節にはぜひ稲荷台ビオトープへお立ち寄りください。稲荷台ビオトープのご活躍を祈りながら、環境保全の地味な活動を応援する自治会や町会が増えることを願っています。（文責 森）

24年度 新規ホタルメイト加入団体 私たちはほたるの里を応援しています！

トーネット株式会社

日産自動車八千代営業所各支店

有限会社 ふれあい総合企画

CAC スイミングスクール勝田台

Kid's ☆garden

Take まつげ専門店

印旛沼浄化に向けた八千代市の取り組み

島田谷津のオオフサモ駆除

平成 22 年度に印旛沼・流域の再生に向けて「印旛沼流域水循環健全化計画」が策定されました。計画を実行する八千代市の取り組みとして、10 月 26 日（金）に八千代市ほたるの里づくり実行委員会と八千代市環境保全課等の計 11 人で、新川へと流れる島田谷津の水路に繁殖している特定外来生物オオフサモを駆除しました。

特定外来生物は生態系、農林水産業等への影響が特に大きい生物です。今回の作業により軽トラック 1 台程度の量のオオフサモを駆除し、元々水路にある植物・希少種の保全になり、ひいては印旛沼流域周辺河川・水路の浄化に繋がりたいです。

（文責 広報部）

ほたるの里の稲刈り

実りの秋、ほたるの里にも 5 月に植えた稲が実りました！

9 月 22 日はあいにくの曇り空でしたが、湿地に実った稲を約 10 人で楽しく刈りました。刈った稲を束にするコツがなかなかつかめませんでした。ひもにかけて、天日干ししました。その後、数人で脱穀を手で行い、すり鉢で粃すりしました。玄米にするまでの手作業は、かなりの時間と辛抱強さが必要でした。一粒のお米の大切さも実感しました。里にはギンナンなどの秋の恵みがあります。

来年こそは、湿地の稲にヘイケボタルが飛ぶことを期待したいものです。（文責 広報部）



稲刈り風景

1～3月のスケジュール

◇ 里の環境整備 ◇

ほたるの里では里内の湿地やトンボ池の整備を行っています。



日 時：3月9日（土）午前10時から12時頃

集合場所：ほたるの里

注 意：各自で軍手・長靴・汚れてもよい服装・飲み物等のご用意をお願いします。

やちよ里山シンポジウム2013を開催します

日 時：3月2日（土）13:00 ～ 16:20

場 所：ふれあいプラザ 4階 第3会議室

★基調講演 「里山と生態系サービス」

中村 俊彦氏（千葉県立中央博物館副館長）

★活動紹介

① 生きもの調査（6地区）

② 湧水調査（島田谷津）

③ 里山楽校

④ ヤマトミクリの里づくり

⑤ ふれあいプラザの里山への取り組み

参加費／無料 募集人数／100人

主 催／八千代市環境保全課環境政策室

※参加希望の方は2月20日（水）までに、

八千代市環境保全課環境政策室へ

問合せ・お申し込み／環境保全課環境政策室

047-483-1151（代表）（内線 3215）

第16回総会のお知らせ

日 時：4月6日（土）10:00 ～ 12:00

場 所：八千代市郷土博物館学習室

平成 24 年度の活動及び会計報告、15 周年を迎える 25 年度の活動予定について話し合います。

※総会の後に希望者で宮内周辺の懐かしい風景

の中、自然観察会を行います。お弁当・水筒等をお持ち下さい。

[ほたるの里のホームページ]

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/siyakusyo/kankyo-seisaku/hotarunosato/index.html>

[ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

[編集]

広報部会 事務局